

入場無料

定員：100名

トークセッション

持続可能性から 未来可能性へ

—300年後の桐生からふりかえる

登壇者

板橋英之

群馬大学大学院理工学府 教授

太田和彦

総合地球環境学研究所 研究員

司会：福田肇

樹徳中高一貫校 教諭

私たちは過去の出来事をふまえて未来の予測を立てます。つまり、「これから起こるだろうこと」を、「いままで起きたこと」の続きとしてイメージします。これは理に適っています。しかし、私たちは知らず知らずのうちに、「これから起きてほしいこと」も、「いままで起きたこと」の続きとして、過去に縛られた、窮屈な形で想像してはいないでしょうか。今回のトークセッションでは、未来可能性という言葉を手がかりにして、「これから起きてほしいこと」を考えることの自由さや寄り辺なさや難しさについて、また、「これから起きてほしいこと」のイメージを膨らませ、その実現を支える、完全自動運転技術についてご紹介いたします。

300年後の人々は、300年前のいまを、どんな時代としてふりかえるのでしょうか。あれこれ想像するきっかけとなれば嬉しいです。桐生以外にお住まいの皆さまも、それぞれの場所の知らない未来から想像をふくらませてみてください。

お問い合わせ

geshisaiinkiryu@googlegroups.com

6月25日(日)

12:00 ~ 13:30

有隣館酒蔵

群馬県桐生市本町2丁目6-32



主催：「夏至祭 in 桐生 2017」実行委員会 共催：総合地球環境学研究所